

ペット用ヒーターに起因する火災事例

火災概要

防火構造2階建一般住宅の2階居室から出火し、内壁及び天井面を約5㎡焼損した建物火災(部分焼)です。

火災発見後、家人により粉末消火器で初期消火を実施、効果はあったものの鎮火には至らず消防隊により消火された火災です。この火災で死傷者は発生していません。

原因概要

焼損状況より出火箇所を絞り込み、発掘したところ、居室内で飼われているウサギのかご内から、保温器具として使用されていたペット用ヒーターを発見しました。

この電気コードは、床板に沿って露出しないように配線され、露出部分はウサギが噛みちぎるのを防止するために、金属製のフレキパイプで保護されていましたが、同パイプの端末より先の露出部分で、「く」の字に曲がり断線し、この箇所に電気痕が認められました。

電気コードはウサギのかごの格子に掛けられた状態で配線されていたことから、電気コードに曲げや引っ張り等の外力(ウサギの移動等)が生じ、素線の一部が断線、その箇所の抵抗値が増加したため、発熱し発火、電気コードに接していた繊維類に着火して拡大したものです。

類似火災の防止対策

ペット用として電気器具を使用する場合は、ゆとりのある使用環境を心掛け、無理な使用は止めてください。

電気器具を使用する場合、間違った使用方法ではジュール熱やトラッキング現象等の絶縁破壊が発生し火災に至ることがあります。

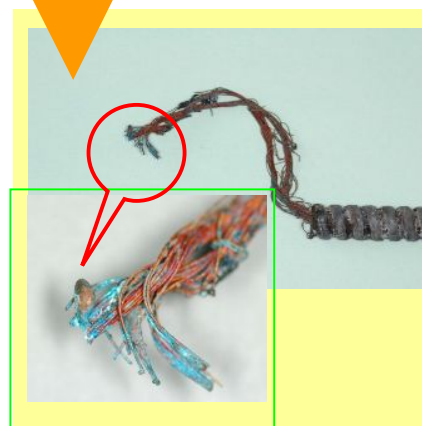
取扱いの際は、説明書の書かれた使用上の注意を守り、不明な点は販売店や製造元に問い合わせてください。



焼損状況



ウサギのかご内の状況



断線及び電気痕

・・・火災が発生した場合は、直ぐに消防(119)へ通報してください。・・・